

2023 7. vol.63

社会福祉法人

愛媛いのちの電話



1985年電話相談を開始し38年目を迎えました



カワセミ

写真提供：石川 清治氏

撮影場所：愛媛県総合運動公園

ひとりぼっちで悩まないで……

CONTENTS

- ・『自前のイニシエーション』 横田和子
- ・『つながりが生命をまもる』 渡部三郎氏
- ・第42期養成講座開講
- ・令和4（2022）年度事業報告

相談電話 **089-958-1111**

毎日：昼12時～夜12時

インターネット相談

<http://www.e-inochi.jp/>

「インターネット相談」はこちらへ をクリック



自前のイニシエーション

社会福祉法人愛媛いのちの電話

理事 研修委員 横田 和子

現在、私は大学の社会人講座で「児童文学」を担当しています。専門外分野ですが、受講者の方々と楽しい時間を過ごしています。

そんな中、絵本「ヤクーバとライオンⅠ 勇気」に出会いました。「アフリカのある村では、少年は独りでライオンを倒すことで一人前と認められる。少年ヤクーバが出会ったライオンは弱っていて、倒すことは簡単だった。ライオンは自分を殺して立派な男と言われるか、殺さないで気高い心をもった人間になるかとヤクーバに問う。ヤクーバは一晩考える。結局、ライオンをしとめずに村に帰ってきたヤクーバは、戦士になれず牛たちの世話係になる……それから村の牛たちは二度とライオンに襲われることはなかった」という、命の尊さ、勇気が描かれているお話です。

私はイニシエーション（通過儀礼）がテーマとも感じました。非近代社会での大人になる確固たるイニシエーションは私たちの生活では消滅しています。成人式はありますが、「ライオンを倒す」に匹敵するほど命懸けの厳しい儀式ではありません。

では、私たちはどのようにして大人になるのか？就職などの社会的、経済的自立の他に「精神的な自立」とは？……河合（2000）は、「それぞれのイニシエーションを自前で自作自演しなくてはならない」と述べています。また、社会が進歩する現代においては、イニシエーションを何度もせざるを得ない、とも論じています。イニシエーション体験の際、ヤクーバのように決断を迫られ悩むことも多いでしょう。そんな時、だれかが寄り添って話を聴いてくれると、とてもありがたいと思います。現代人の生きづらさの背景には、このようなイニシエーションの課題があるのかもしれない。

ちなみに、「ヤクーバとライオンⅡ 信頼」は続編です。2冊の訳者である柳田邦男氏の「あとながき」を読むと、より感慨深いです。

文献：ティエリー・デデュー（2008）ヤクーバとライオンⅠ 勇気. 講談社
ティエリー・デデュー（2008）ヤクーバとライオンⅡ 信頼. 講談社
河合隼雄編（2000）講座心理療法第1巻 心理療法とイニシエーション. 岩波書店



先輩相談員の声



ある日、思春期の子どもを持つ女性から「娘とうまくいかない。自分は怒ってばかりで嫌になる」という話でした。

分かるなあ……と想像を巡らせながら話を進めていると「どうしてあなたは、何があったのか聞かないのですか」と疑問とも質問とも取れる問い掛けにドキリ!!

コーラーの期待、思いからずれているのだと気づきました。コーラーが事象を言わないなら、それなりで……と尋ねるのを控え目にしていたのです。電話を掛けて来た狙いが不明瞭なまま会話をするのは心が疲れます。お互いが、よかったと思える終わり方が理想ですが、相談員もコーラーから刺激を受けて成長中です。(R.K)



相談員として活動を始めて25年余り……

そして、受信時間は2000時間を越えた。

40代で仕事も子育ても忙しい時間にこの活動を始めた。どうやって時間をやりくりしていたのか、自分でも不思議なくらいである。

子育てがうまくいかない時、職場での人間関係に悩む時、この活動があることに救われた。電話の向こうのひとと心が通い合った時、自分の心も癒される。継続研修で仲間と率直に語り合った時、素の自分に返ることができ

る。
“ボランティアは人のためならず”

もう一つの居場所があることに随分助けられている私である。(M.W)

2年前のある日、相談電話で、女性コーラーに「あなたの聞き方は全然駄目」と、今までで一番厳しいお説教を受けた。正直腹が立った。しかしその後、コーラーの言葉を受け入れて、試行錯誤しながら一から全てやり直した。その結果、苦手だった多くのコーラーの話も安定して聞けるようになった。

人生、何が幸いするかわからないと肝に銘じた。

以下はその時、参考にした文章の抜粋である。

「もしかしたら批判と共に、あなたが克服すべき課題を与えてくれているのかもしれませんが。まずは批判を冷静に受け止めて、そこから何か課題を見つける。それはきっと喜びにつながるでしょうし、自分が成長するきっかけにもなるでしょう」今、アメリカ大リーグで活躍中の大谷翔平選手が、人生の師としているという故中村天風氏（自己啓発講演家、思想家）の言葉である。以上(Y.N)



私は、人がしない、自分しかできないようなことを探して取り組みたいと思っています。地道にコツコツと。芸人の友近さん曰く「段取りをして……」優先順位を決めての行動を。その反面あきらめることも……。

長いうちの電話に携わっている人をリスペクトしています。

武井先生の「相談員を守りたい」のお気持ちが嬉しいのです。

これからも相談員が新たな思いで活動することが出来るようにと願って。

同期生は温かく力を与えてくれます。でもマイペースでね。ありがとうございます。(N.Y)



誰にも言えない気持ち、
聞かせてください。

自殺予防 応答の場

0120-783-556

いのちの電話

「自殺予防いのちの電話」は
悩み苦しんでいる人の“こころ”が和らぎ
希望と勇気をもって
再び生きていけることを願い開設されました。

日本いのちの電話連盟

<https://www.inochinodenwa.org>

フリーダイヤル（無料）で電話相談を受け付けています。
受付日 18:00～21:00まで 毎月10日は8:00～翌11日8:00まで
※IP電話での利用は毎月10日～翌11日の間のみです。03-6734-7530（有料）とあわせて、
0370-783-556（無料）のダイヤルもご利用いただけます。詳しくはホームページをご覧ください。



つながりが生命をまもる

愛媛いのちの電話後援会副会長

正光会宇和島病院精神科医 渡部 三郎氏

宇和島の自殺未遂者支援

保健所の自殺対策チームが、南予救命救急センターを拠点とした現在の自殺未遂者支援を開始して10年余りになる。自殺未遂者は、将来その1割が自殺で亡くなるという統計データがあるが、幸運にもチームでかかわった未遂者で、自殺で亡くなった方はおられない。

宇和島の未遂者支援は何が有効だったのか、考えてみたい。

出会いのタイミング

自殺未遂者やその家族との継続的にかかわりが難しかった時代があった。「個人情報」のために、支援につながらなかったのだ。

そこで再発予防の鍵を握る保健師と未遂者の出会いの時期を考えることとなった。救命救急センターに搬送される未遂者は、『消防署への通報、救急車での搬送、事件可能性から警察への連絡、救急外来での身体科治療、救命救急センターへの入院・身体科治療の開始、地域連携室のかかわり開始と対策事務局である保健所、精神科医（外部非常勤医）やチームの一員である地域保健師への連絡と病室での出会い。身体（・精神）科治療を行い、退院後の地域保健師の継続訪問』へとつながっていく。自殺行動を選択せざるを得なかった苦しい気持ちが残っている入院初期での未遂者と保健師の出会いが重要である。

共感と敬意ある関心

地域でのかかわりは、未遂者と保健師とのつながりが鍵となる。辛くしんどい時期に出会えたことが、保健師に共感と未遂者の生きづらさへの敬意ある関心を生み出しやすくさせるのだと思う。「私とあなた」の二者関係ができれば、その後の訪問契約も簡単になる。

つながりをつなげる

ヒトの孤立や孤独を癒やしてくれるのは、共感をベースにしたヒトとの関係であり、困ったときに解決を援助をしてくれる人の存在である。一人の支援者だけでは限界があり、チームの存在が不可欠となる。

さらには、専門職だけでなく、地域でゲートキーパーを育成し、地域住民と未遂者をつなげる。そして地域コミュニティの中で相互支援が自然に行われることが目標となる。

ご支援のお願い

「愛媛いのちの電話」は皆様のご寄付によって支えられております。今後も引き続き「愛媛いのちの電話」の活動をお支えいただきますよう、よろしく願い申し上げます。
専用の振込用紙がありますので必要な方は事務局までお申し出下さい。

○後援会会費として納める
【口座番号】伊予銀行本店 普通 4557649
団体 1口10,000円
個人 1口 3,000円

○法人宛に直接寄付する
【口座番号】 ゆうちょ銀行 01680-7-12992
伊予銀行 本店（普） 4576318
愛媛銀行末広町支店（普） 2203131
（金額はご自由です）

第42期

相談員養成講座 スタート

5月13日(土) 愛媛県男女共同参画センターに15名の受講生が集い、「第42期相談員養成講座」がスタートしました。



開講式、オリエンテーションの後、武井義定理事長による「出会いのワーク」が行われました。人と出会うことも控え目にしなくてはならないような不自由な期間を経て、今年からはまた元通り、人との距離を文字通り縮めていく体験を積み重ねられる講座になることでしょう。皆さんの表情にも講座に参加する意欲や充実感が例年にも増して感じられました。

受講生の感想

- ・最初は緊張していましたが会全体が和やかな雰囲気ので安心してました
- ・聴いてくださる方を相手に話すのは気分が良く楽しかったです
- ・来るときは不安でいっぱいでしたが、本当にぜいたくな時間を過ごしました
- ・否定されず受け入れられることで「信頼感」や「安心」を体験しました
- ・少しずつ自分自身も成長できる場所だと思いました
- ・これから多くのことを学び自分らしく生きていきたいです
- ・まだまだ壁はあるけどうまく進化していけたらいいのになー
- ・ずっとこの仲間と居たい

ある日の電話から

開口一番「私の話を聞いてもらえますか」と言われて、「はい」(もちろん) お聞きしますよと応えました。悩み事は、自分のことを家族にわかってもらえないのだという訴えで、みんなからお前がおかしいと言われて馬鹿にされるというのです。誰からも認められず孤立しているようです。

生活はどうされているのかしら。気になる事は幾つかありましたが彼の話は、私のこれまでの価値観では測れないものが垣間見え、相手の話に賛同できない葛藤が起き始めました。こちらの意見を話してスッキリしたい気持ちが頭をよぎります。

しかし私がスッキリすると、相手はどうなのか？否定された、言いくるめられたと感じてしまうのではないか。

「相手の話を受け止める」場合、自分の考えを何処に置けばいいのでしょうか。

複雑な話や解決の付かない話になれば、相手の事を思い「どうにかならないかしら」と思案をして意見したくなります。その意見が受け入れられる場合

もあれば、その反対も起こります。「そんな事を言われたくない」と反論されると収まらなくなるのです。本当に対応の難しさを実感しています。

私は毎回、「あなたは何を求めて電話をかけてこられたのですか」と想像しながら受話器を取ります。受容、共感、傾聴が基本姿勢。

「聞いてもらうことで得られるものは小さくない」という言葉を最近知って、とても励まされます。電話で繋がった方が、その後の人生のプラスにして生きて行かれると信じて、続けています。(S.T)

※内容は実際の相談を基に構成し直したものです。



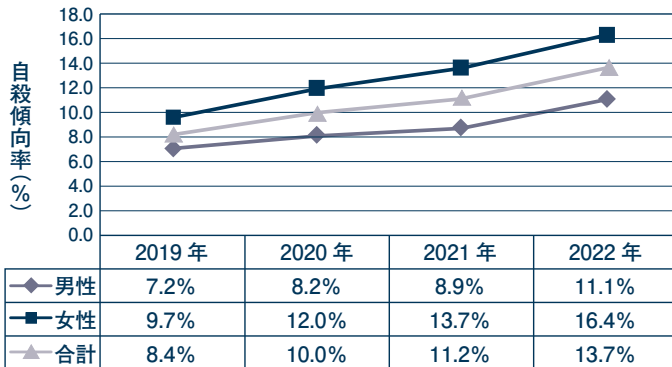
提供 春藤 伸一氏

社会福祉法人 愛媛いのちの電話 事業報告

電話相談受信状況 (2022年1月1日～2022年12月31日)

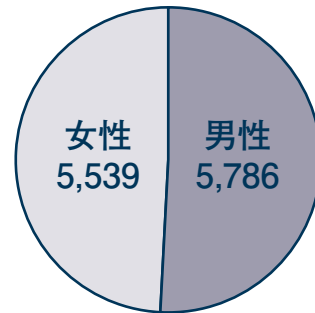
- 1、受信時間 毎日 12時～22時
- 2、相談員 81名 (実働72名)
- 3、受信件数 11,325件
そのうち自殺傾向のある相談 1,549件 (13.7%)

▼ 男女別自殺傾向率



自殺傾向率=自殺を訴えた相談件数/全相談件数

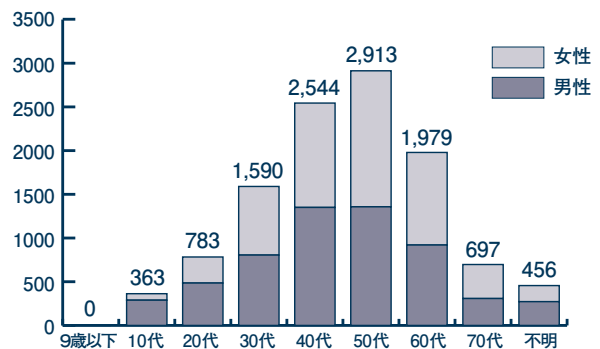
▼ 男女別相談件数



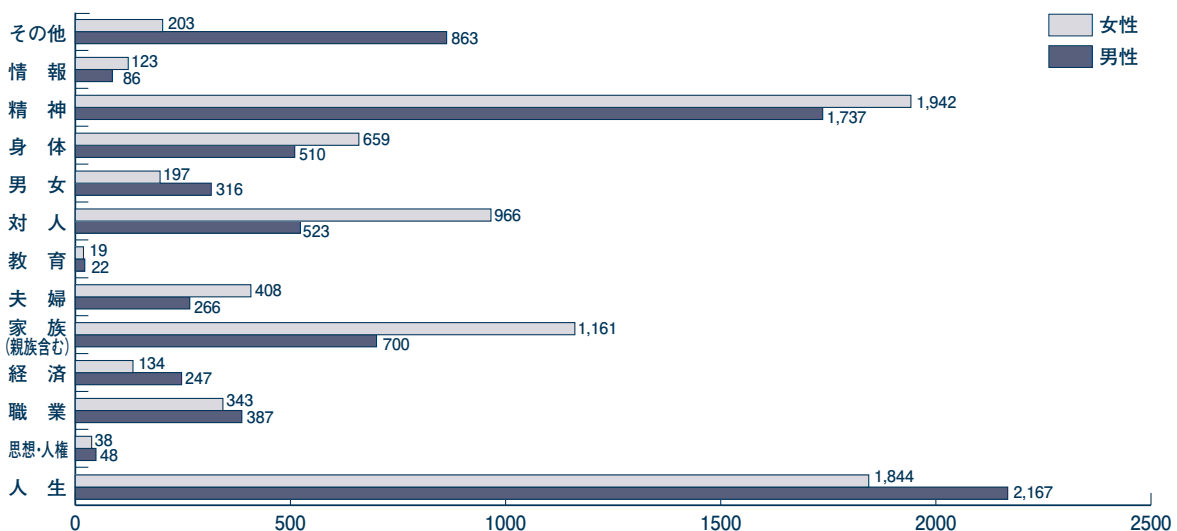
▼ 年間相談件数

	相談件数	月平均相談数	1日平均相談数
2022年	11,325	944	31
2021年	10,584	882	29
2020年	11,175	931	31
2019年	12,055	1,005	33
2018年	12,498	1,042	34

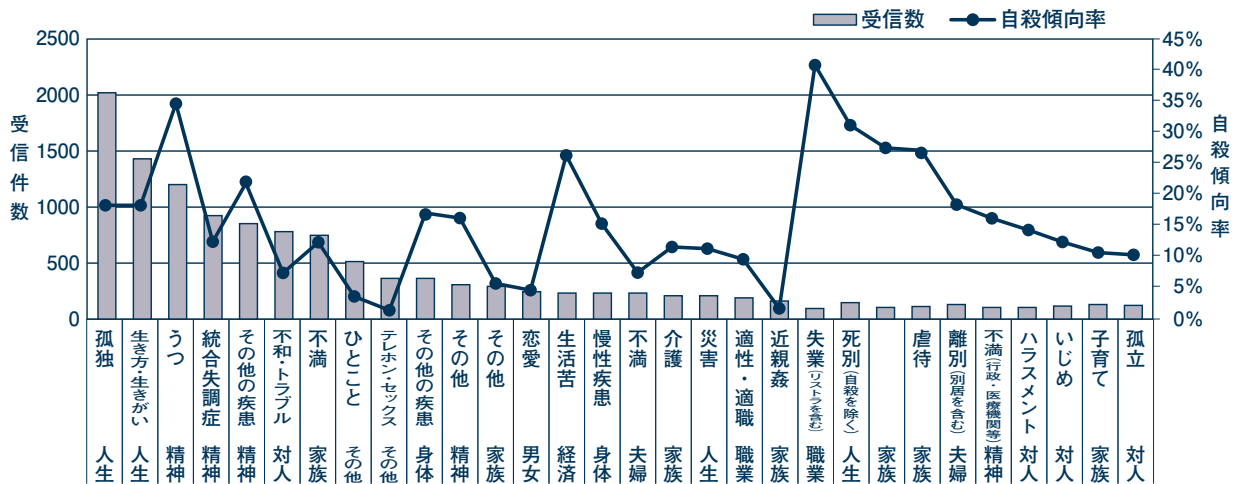
▼ 年代別相談件数



▼ 問題別相談件数



▼ 受信内容と自殺傾向率（複数分類による）

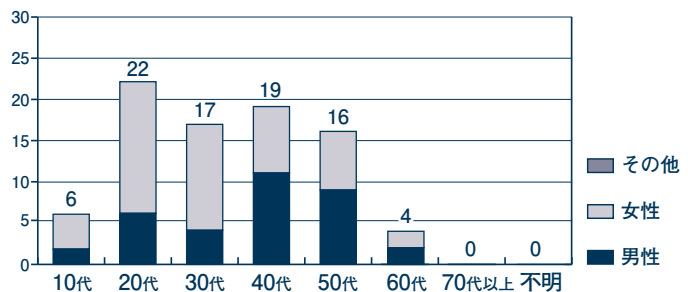


- 1 コロナ禍での生活が続いていることが影響してか、相談内容は人生に関するもので、「孤独」、「生き方・生きがい」を訴える内容が多い傾向が続いている。
- 2 自殺傾向率は2019、2020年、2021年、2022年と増加傾向が続いている。

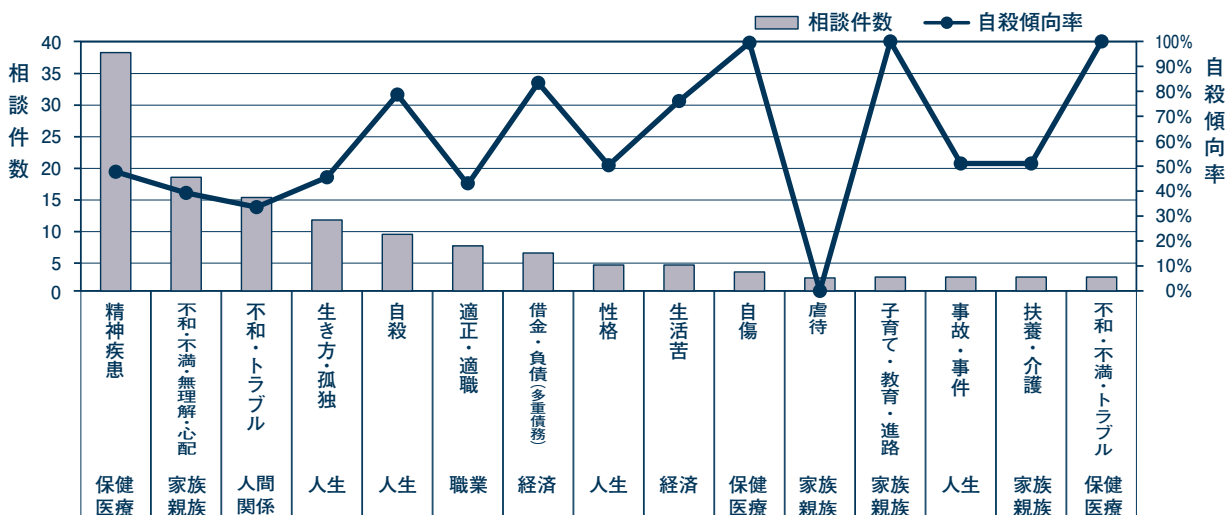
インターネット相談実施状況 (2022年1月～2022年12月)

- 1、実施日 39日
- 2、受信件数 84件
そのうち自殺傾向のある相談 40件

▼ 年代別相談件数



▼ 主要相談内容と自殺傾向率



令和4（2022）年度 事業報告（2022年4月1日～2023年3月31日）

1. 理事会・評議員会および監査

- 4月7日 第1回理事会
次期事務局体制について
- 5月20日 監事監査
- 5月26日 第2回理事会
令和3（2021）年度事業報告、決算報告、
定時評議員会の招集
令和4（2022）年度第一次補正予算
- 6月16日 定時評議員会
事務局長の交代について、令和3（2021）年
度事業報告、決算報告
令和4（2022）年度事業計画
- 9月30日 愛媛県指導監査
- 12月15日 第3回理事会
令和4（2022）年度上半期事業報告、令和4
（2022）年度第二次補正予算
- 3月16日 第4回理事会
経理規定の変更、令和4（2022）年度第二次
補正予算
令和5（2023）年度事業計画、令和5（2023）
年度予算

2. 電話相談事業

(1) 受信時間

相談時間10時間（毎日12時～22時）
受付電話番号：089-958-1111
10月5日にシステムを変更
従来の電話機2台2回線で受信を3台3回線に
2拠点以上での受信が可能

(2) 相談員（2022年4月1日現在）

登録相談員 81名（男11名、女70名）
実働相談員 72名（男11名、女61名）
令和3（2021）年度 5,000時間達成者1名
2,000時間達成者2名
1,000時間達成者4名
感謝状と記念品を授与

(3) 受信件数（2022年1月～2022年12月）

相談件数 11,325件（1日平均31件）
そのうち自殺傾向のある電話 1,549件（13.7%）

電話種類	受信件数			自殺傾向のある電話件数			
	男	女	総計	男	女	計	%
通常	4,345	3,605	7,950	367	416	783	9.8%
ナビダイヤル	688	1,034	1,722	120	289	409	23.8%
毎月10日FD	408	361	769	66	81	147	19.1%
毎日FD	345	539	884	90	120	210	23.8%
総計	5,786	5,539	11,325	643	906	1,549	13.7%
(参考)2021年	5,401	5,183	10,584	481	709	1,190	11.2%

(4) 分室

- ① 東予分室：受信件数 1,166件
- ② 南予分室：受信件数 608件
- (5) インターネット相談
相談員数12名 返信数84件（男34 女50）
自殺傾向のある相談40件（47.6%）

3. 電話相談員の養成と研修

(1) 電話相談員養成講座

- ① 第40期：2021年3月新居浜市で開講
2022年2月から実習
8月に相談員認定9名
- ② 第41期：2022年3月松山市で開講
8名が受講中
(12月3日に座学終了、実習中)

(2) 現相談員の継続研修（月1回）

- ① 毎月1回のグループ研修 継続グループ数8
研修委員7名：宇都宮千夏、大久保雅代、
川本こずえ、近藤智絵子、武井義定
船戸智寿子、横田和子
- ② 全体研修会
6月12日 相談員41名 研修委員7名が参加
テーマ：「困難な事例など、相談電話の実情につ
いて一緒に考えましょう」
- ③ 一日研修会
9月19日：台風の接近により中止
11月23日：参加者が相当数に達せず中止

4. 委員会活動

(1) 研修企画委員会（含 認定委員会）

各研修会、電話相談員養成講座の企画と検討、相談員の
認定、昨今の情勢により疲弊している相談員のケアを目
的に一人1時間のSVを実施

(2) 活動推進委員会

- 相談室部：当番に入ること第一義に活動する、相談
室内の諸問題検討と対策、相談室部の携帯
電話3台を所持、「相談員のためのほっと
ホットライン」
- 統計部：受信記録のパソコン入力、受信状況の集計
- 広報誌編集部：外報誌「愛媛のちの電話」61号（事
業報告を含む）、62号発行
- 交流イベント部：懇親会、交流会の企画実行
 - ① イオンデー：毎月11日 幸せの黄色いレシート
キャンペーンに参加 収益 35,000円
(イオン松山店+マックスバリュ今治阿方店)
 - ② 外報誌を後援会会員に郵送



- ③ 相談室内でのフリーマーケット 及びこころみカフェでの古本市を実施
売上：53,193円 寄附金：53,193円
- (3) 運営会議
各会議、委員会、事務局の連絡、報告
事業の計画・実施について意見交換
こころみカフェの運営
- (4) 事務局
 - ① 内報誌「なかま」の発行 毎月1回
 - ② 助成金の申請、報告等
 - ・愛媛県精神保健福祉協会「愛媛県精神保健福祉思想普及事業費補助金」
 - ・愛媛県「三浦保」愛基金社会福祉分野公募事業
愛媛いのちの電話映画上映会の開催
交付額300,000円 決定6月17日
映画「あん」上映会 1月29日(日) 参加者 95名
 - ④ その他事務
WEB当番表の更改
事務局オンラインシステムの更改

5. 令和4年度愛媛県自殺予防電話相談員養成業務委託

「電話相談員の募集および養成 現相談員の研修とケア」
6月30日契約締結 交付額5,490,000円
ホームページの更改
募集のチラシを2回新聞に折り込む
相談員のケアとして個人スーパービジョンを行う
研修旅費の支給

6. 全国のセンターおよび連盟との連携

- (1) 日本いのちの電話連盟による事業
【厚生労働省補助事業 フリーダイヤル自殺予防いのちの電話】
 - ① フリーダイヤルによる電話相談
 - ・毎月10日午前8時から11日午前8時まで24時間参加
 - ・コロナ禍による毎日フリーダイヤルの実施
愛媛では週2日程度、16時～19時の3時間受信。
 - ② ナビダイヤルによる電話相談
一般電話958-1111の受信に入ってくる (17.8%)
 - ③ インターネット相談
 - ・連盟SV 横田和子
 - ・愛媛センターSV 大久保雅代 川本こずえ
 - ④ 自殺予防公開講演会
日程：9月25日(日) 子規記念博物館 講堂
演題：「ひきこもり」から考える
～コロナ下で見えてきたこと～
講師：石川良子氏 (松山大学教授)
参加：80名
- (2) 日本いのちの電話連盟の会議 他
社員・理事：武井義定 研修委員：武井義定、横田和子

- ① 一般社団法人日本いのちの電話連盟社員総会
6月25日(土)
事業報告、決算、事業計画、予算、役員改選
- ② 理事会
- ③ 研修委員会
- ④ 統計システム事業委員会
- ⑤ 自死遺族支援事業委員会
- ⑥ 事務局長研修会 7月2日
- ⑦ 研修担当者研修 6月19日
- ⑧ 第46回日本自殺予防シンポジウム熊本 (Web会議)
9月11日
- ⑨ 中国・四国ブロック研修会 (高知) 12月17、18日
中国・四国ブロック会議 (Web会議) 2月20日

7. 愛媛県松山市他、諸機関との連携

- (1) 愛媛県
 - ・愛媛県自殺予防対策連絡協議会 (Web会議)
2月9日
 - ・愛媛県精神保健福祉協会理事会 (書面開催) 6月18日
 - ・愛媛県犯罪被害者支援連絡協議会定例会 9月22日
- (2) 松山市
 - ・松山市自殺対策関係機関連絡会
7月29日、12月9日
 - ・松山市自殺対策推進委員会
8月22日 (Web会議)、2月2日 (ハイブリッド会議)
- (3) 宇和島市・宇和島保健所
 - ・宇和島保健所地域自殺対策検討連絡会
10月26日 (Web会議)
 - ・宇和島市自殺対策連絡会 2月1日

令和4 (2022) 年度 役員

理事長	武井 義定		
副理事長	谷本 治		
理事	大久保雅代	川崎 佳子	
	中矢 吉男	横田 和子	以上 6名
監事	足立 純一	近藤 猛	以上 2名
評議員	青野 篤子	越智真理子	
	梶原 万裕	加藤 泰三	
	谷 直樹	西澤 孝一	
	渡部 三郎		以上 7名

令和4（2022）年度 決算報告

2022年度 事業活動計算書 (2022年4月1日～2023年3月31日)

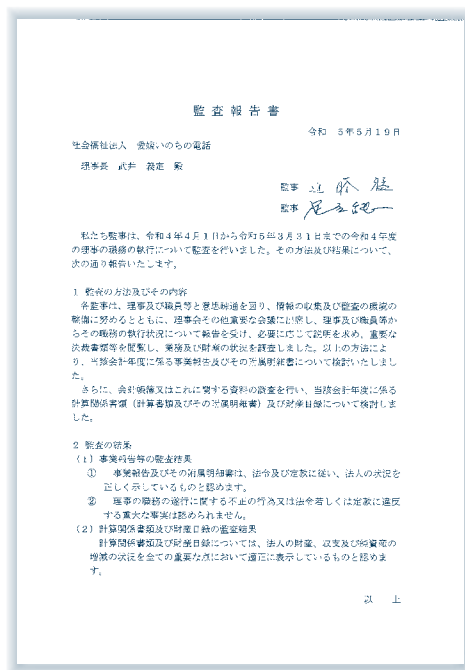
勘定科目		2022年度決算
サービス活動増減の部	収益	
	その他の事業収益	6,100,000
	その他の収益	405,000
	経常経費寄附金収益	3,786,456
	サービス活動収益計(1)	10,291,456
	費用	
	人件費	2,673,951
	事業費	2,151,536
	事務費	5,004,614
	減価償却費	211,625
国庫補助金等特別積立金取崩額	-67,610	
サービス活動費用計(2)	9,974,116	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	317,340	
サービス活動外増減の部	収益	
	受取利息配当金収益	330
	その他のサービス活動外収益	58,847
	サービス活動外収益計(4)	59,177
費用		
サービス活動外費用計(5)	0	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	59,177	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	376,517	
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	150,000
	特別収益計(8)	150,000
	国庫補助金等特別積立金積立額	150,000
費用		
特別費用計(9)	150,000	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	376,517	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	10,238,904
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	10,615,421
	基本金取崩額(14)	
	その他の積立金取崩額(15)	
	その他の積立金積立額(16)	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	10,615,421

2022年度 資金収支計算書 (2022年4月1日～2023年3月31日)

勘定科目		2022年度決算	2022年度予算
事業活動による収支	収入		
	その他の事業収入	6,100,000	6,101,000
	その他の収入	405,000	400,000
	経常経費寄附金収入	3,786,456	3,957,000
	受取利息配当金収入	330	300
	その他の収入	58,847	0
	事業活動収入計(1)	10,350,633	10,458,300
	支出		
	人件費支出	2,673,951	2,910,000
	事業費支出	2,151,536	2,151,536
事務費支出	5,004,614	5,004,614	
事業活動支出計(2)	9,830,101	10,066,150	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	520,532	392,150	
施設整備等による収支	収入		
	施設整備等補助金収入	150,000	
	施設整備等収入計(4)	150,000	0
	支出		
固定資産取得支出	161,700		
施設整備等支出計(5)	161,700	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-11,700	0	
その他の活動による収支	収入		
	その他の活動による収入計(7)	0	0
支出			
その他の活動支出計(8)	0	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	
予備費支出(10)	0	4,850	
当期資金収支差額合計(1)=(3)+(6)+(9)-(10)	508,832	387,300	
前期末支払資金残高(12)	7,960,129	7,960,129	
当期末支払資金残高(11)+(12)	8,468,961	8,347,429	

2022年度 貸借対照表 (2023年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	8,815,494	流動負債	346,533
固定資産	14,085,860	負債の部 合計	546,533
基本財産	13,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	1,085,860	基本金	11,554,565
		その他の積立金	384,835
		次期繰越活動増減差額	10,615,421
		純資産の部 合計	22,554,821
資産の部 合計	22,901,354	負債及び純資産の部 合計	22,901,354



令和5（2023）年度 事業計画（2023年4月1日～2024年3月31日）

1. 法人運営

- 5月：理事会（令和4年度決算、令和4年度事業報告、定時評議員会の開催）
- 6月：定時評議員会（令和4年度決算、任期満了に伴う役員の改選）
理事会（理事長・副理事長の選任）
現況報告書、役員名簿、計算書、事業報告書、財産目録、監査報告書の届出
- 12月：理事会（令和5年度上半期事業報告について）
- 3月：理事会（令和5年度補正予算、令和6年度事業計画、令和6年度予算）

2. 相談事業

- (1) 電話相談
 - ・相談時間：12時間
 - ・受信時間帯：毎日12時～24時
 - ・新居浜分室：毎月5日程度の受信
南予分室：毎月5回程度の受信
- (2) インターネット相談（日本のいのちの電話連盟事業）
随時実施

3. 電話相談員の養成と研修

- (1) 電話相談員養成講座
 - ・第41期（令和3年度事業）：2023年5月 認定予定
 - ・第42期（令和5年度事業）：2023年5月 開講予定
- (2) 現相談員のグループ別継続研修（月1回）
 - ・継続グループ数：9グループ
（1年目のわかばグループを含む）
 - ・研修委員：8名 宇都宮千夏、大久保雅代、川本こずえ、近藤智絵子、武井義定、信原真紀、船戸智寿子、横田和子

4. 一般社団法人日本のいのちの電話連盟・他センターとの連携

- (1) 厚生労働省補助事業 フリーダイヤル「自殺予防のいのちの電話」に参加
 - ・毎月10日午前8時～翌朝8時（24時間）受信
 - ・公開講座 講師：増田明美
日時：2023年9月10日
場所：松山市総合福祉センター
1F大会議室
演題：未定
- (2) ナビダイヤルに参加
 - ・12時～22時に受信
- (3) インターネット相談
 - ・連盟に認定された相談員が月3日程度のシフトを担当
- (4) 会議・研修等
 - ・社員総会 6月24日(土) 富士見町教会
 - ・事務局長研修 7月8日(土) 富士見町教会
 - ・全国相談員研修会 10月26日(木)～28日(土) 福島

5. 委員会活動と事務局運営

- ・運営会議の開催（月1回）：各委員会の連絡、諸行事の企画・実施
- ・各委員会活動（随時）：活動推進、研修企画、総務
- ・外報誌「愛媛いのちの電話」（年2回）と内部報「なかま」の発行及び発送
- ・ホームページの更新、その他の広報活動
- ・後援会との連携

6. 愛媛県諸機関および松山市その他市町との連携

- ・愛媛県自殺予防対策連絡協議会、愛媛県被害者支援連絡協議会への参加
- ・松山市自殺対策関係機関連絡会、松山市自殺対策推進委員会への参加
- ・宇和島市自殺対策連絡会への参加
- ・愛媛県地域自殺対策強化事業・愛媛県三浦保「愛基金」への申請

2023年度 予算

勘定科目		金額
事業活動による収入	その他の事業収入	3,210,000
	会費収入	400,000
	経常経費寄附金収入	3,835,000
	受取利息配当金収入	300
	事業活動収入計(1)	7,445,300
事業活動による支出	人件費支出	2,910,000
	事業費支出	1,745,000
	事務費支出	2,790,300
	事業活動支出計(2)	7,445,300
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		0
施設整備等による収入	施設整備等収入計(4)	0
	施設整備等支出計(5)	0
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		0
その他の活動による収入	その他の活動による収入計(7)	0
	その他の活動支出計(8)	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0
予備費支出(10)		100,000
当期資金収支差額 合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-100,000
【資金残高】		
前期末支払資金残高(12)		6,059,192
当期末支払資金残高(11)+(12)		5,959,192



あたたかいご支援ありがとうございます



2022年12月1日～2023年6月30日までに、次の方々から社会福祉法人愛媛いのちの電話への寄付または愛媛いのちの電話後援会への会費としてご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。(五十音順・敬称略)

個人	青木 弥生	足立 純一	阿部 待子	池田 幸一	石川麻奈美	石丸 裕司	一ノ宮孝司
岡野 鏡子	井上美奈子	今井久美子	内山 創	宇都宮紀子	宇都宮千夏	大久保雅代	大塚 岩男
木綱 俊三	越智 通晴	越智 慶子	加藤 泰三	加藤 政昭	川崎 佳子	川端紀美代	川本こずえ
小島佐代美	木村すみれ	久保田孝子	栗田 啓	栗田 肇	黒川さゆり	桑田佳代子	河野 浩
須山 楓	五領田眞理子	近藤 猛	重松 章子	清水 正子	城賀本早智子	菅 温子	鈴木 公生
竹下 裕子	関家 徳美	高内美代子	高瀬 圭子	高野 順子	高橋 裕子	武井 義定	竹尾 富美
垂水 真人	竹本 仁弘	立川 百恵	田中 恭子	田中都智美	田中 美枝	谷 直樹	田村由美子
中島真智子	鶴井 善子	戸梶 元斎	戸田 佳乃	富永 和子	永井 和美	中井三津子	永江 健次
西本 瞳	中橋 恒	中原 昭子	中村 安子	中矢 吉男	西川ゆかり	西澤 孝一	西原 康雄
兵頭 早苗	二宮 孝夫	野村 和男	野村 実	橋本 清光	林 浩美	林 万有美	板東美貴子
松村 茂	福岡 幸子	福原 千佳	藤田純一郎	船戸智寿子	星加 修	松浦 恵一	松浦 秀二
村上 弘子	松本 郁枝	真鍋喜代美	真鍋 桂子	丸尾 傳	三神 弘子	三木 茂円	宮崎 節子
森本 邦江	村上 広子	村角千代子	村瀬 宏之	村松 つね	本 裕美	森 祐子	森田 浩治
和田 真弓	薬師神寛司	安田富久子	山内 英彦	遊口 親之	弓達ますみ	横山 真一	吉野内久仁子
	渡邊 泰子	渡部 三郎	渡部茂由子				(匿名 17名)

団体

今治ヤンマー株式会社	東汽船株式会社	安藤工業株式会社
医療法人宮本歯科	医療法人今村循環器科内科	医療法人勤有会きら病院
愛媛建物株式会社	医療法人隣善会西条道前病院	N T T労組退職者の会
学校法人勝山学園	愛媛パッケージ株式会社	おりひめ友禅株式会社
株式会社門屋組	株式会社イオタオーエーシステム	株式会社伊予銀行
株式会社母恵夢本舗	株式会社伊予産業	株式会社関西建物
桑原運輸株式会社	株式会社松山建装社	株式会社よんやく
重松建設株式会社	公益財団法人松山済美会	公益財団法人正光会宇和島病院
日本基督教団西条栄光教会	ソニー生命保険株式会社	新居浜商工会議所女性会
日本基督教団松山古町教会	日本キリスト教団丹原教会	日本キリスト教団松山教会
松山東雲女子大学・短期大学キリスト教センター	日本基督教団三島真光教会	藤井株式会社
	有限会社萩の台	有限会社フットフィール

商品提供

イオンリテール株式会社 マックスバリュ西日本株式会社

編集後記

広報部員が少ないので協力をしたいと申し出たものの、全くの初心者には何ができるのか。そもそも相談員になるきっかけは人と人との繋がり。年齢や経歴に関わらず、本音を語れる仲間と研修委員の先生方に感謝しています。

今年も線状降水帯による災害が各地で発生しました。他人事ではなく身近に迫っている感じがしています。

5年前西日本豪雨を経験し、たくさんの方々から助けいただきました。その時の人の温もりを今も忘れることはありません。水の怖さと水の大切さを痛感しました。飲み水の確保と非常持ち出し袋の点検を今一度。備えあれば憂いなし。(T.K)

発行 社会福祉法人 愛媛いのちの電話
 発行者 武井義定
 編集 広報委員会
 事務局 〒790-8691
 日本郵便株式会社
 松山中央郵便局私書箱 158号
 TEL (089) 958-2000
 FAX (089) 958-2014
<http://www.e-inochi.jp/>